

上尾市学校施設更新計画基本計画 地域説明会

日 時	令和3年7月3日(土) 15:00~16:15
場 所	上尾公民館 講座室401
参加人数	2名
意見・要望等	
事務局	【上尾市学校施設更新計画基本計画について説明】
参加者	<p>過去に子ども達の推計による通学路の見直しでいろいろあった記憶があるが、私の子どもは東町小学校に通っていたが、これから子どもの数が減るといことでプレハブ校舎を立ててられた。</p> <p>それから20年以上、プレハブ校舎は解消されないままだった。初めころはクーラーがあるため、大丈夫だとしていたが、プレハブ校舎が老朽化して、西日の問題や寒さの問題が出てきた。</p> <p>2年生がプレハブ校舎を使用していたが、児童数が増え、5学級になったときに入りきらなくなり、1学級だけ本校舎に移ったということを知っている。</p> <p>したがって、児童生徒数の減少という理由で、基本計画を進めることに信用がない。児童生徒数の減少の根拠が信用できない。</p> <p>32ページで、施設状況の確認のところハード面とソフト面で、点数をつけている。</p> <p>例えば東町小学校はソフト面が4.0でハード面が1.7であり、得点の平均をとると2.8になるが、このハード面の点数を見ると全体の中でも一番低い方であると思う。本来であれば老朽化しており、改修が必要であるはずだが、ソフト面との合計で2.8と見てしまうと、いつ改修がされるのかがわからず疑問が残る。具体的な改修計画を教えてください。</p> <p>47ページの適正規模について、小学校だと18学級としているが、1学級の人数をどのぐらいで考えているのかが今日の説明では分からない。例えば、東町小学校の728人を18学級にすると、1クラス40人ぐらいになってしまう。</p> <p>これから35人とか、少人数学級を目指していく中で、1クラスの人数を考えないで計画していくのはどうなのかと疑問に思っ</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>た。</p> <p>48 ページのイメージ検討ですが、具体的な資料はどこに掲載されているのか。</p> <p>将来の子ども達も大切であるが、今現在の子ども達もどのように大切にしていくのかが知りたい。</p> <p>現在の子ども達は特別教室やランチルームなどが無いプレハブ校舎に20年間も放置されていた事実がある。</p> <p>将来の子ども達だけでなく、今現在の子ども達も大事にする計画を立ててほしい。</p> <p>これから厳しい市の財政状況というが、子供たちだけにしわ寄せを押し付けるのではなく、市の財政全体の中でお金をかけるべきところなどを取捨選択し、検討すべきである。</p> <p>児童生徒数がピークを迎えた時は、子供のために一生懸命に学校を建設できた実績があるため、そのようなことをやろうと思えばできるのではないか。</p> <p>知恵を絞ってトライしてほしい。新しい学校づくりとって、遠い学校に通わせるなど、子ども達へのしわ寄せにならないように検討してほしい。</p> <p>1 点目の子ども達が減るから再編をすることに不信感があるということだか、児童生徒数の推計するに当たり、社会保障人口問題研究所が出している人口推計を使用し、児童生徒の推移を考えている。</p> <p>一般的に様々な計画を作成する中で、社会保障人口問題研究所の推計人口を使用している。</p> <p>一方で、将来展望人口という上尾市で人口を増やす施策を行うことで人口を増やしていく方向性も持っている。</p> <p>そのため、推計人口が変わったなど、試算基準に変更があるときには、計画の見直しが必要であることは認識している。</p> <p>2 点目の東町小学校の改修の時期ですが、計画上は、東町小学校は単独で更新していく位置づけである。</p> <p>校舎の耐用年数を見ますと、一部の校舎が2031年に耐用年数を迎える。</p> <p>現状の調査では建物の状況があまり良くない状況であり、そのタイミングで更新をしたいと考えている。</p> <p>実際には2024年ぐらいから更新工事についての協議を始めて</p>
---------------	--

	<p>いきたいと考えている。</p> <p>3点目の適正規模の話の中で、1学級あたりの人数がこの計画にはないということですが、コストシミュレーション上では、今年から35人学級が実施されているが、計画の検討に関しては40人学級をベースに考えていた。</p> <p>その後、35人学級が制度化されたため、基本計画書の中で、35人学級になった場合の学級数の推計を出して、7年後には11学級増える予定であるが、更新の中では、大きめの学校を建設予定であるため、その中で対応が可能と考えている。</p> <p>今の子ども達も大切にしてほしいということですが、当然教育委員会としてもこのような再編だけではなく、再編前の子ども達に対しても、できる限りいろんなことを対応させていただき、教育環境の整備に努めていきたいと考えている。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>市の財政状況について、子ども達だけにしわ寄せを押し付けるのではなくて、他でもやるべきだという意見だったかと思うが、市全体として、これまでやってきた施策の見直しも含めて財源確保や新たな事業展開などを含めて検討してまいりたいと考えている。</p> <p>我々としても全力を尽くしてやっていきたいと思う。</p> <p>今の子供たちも含めて、未来の子供たちのためにどういったことができるかを教育委員会として考えてまいりたいと思う。</p>
<p>参加者</p>	<p>48ページの持続可能な教育環境づくりの検討パターン設定したときに、Cパターンが一番良いとしています。その根拠の資料はどこかにあるのか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>Cパターンを見ていただくと18学級程度の学校が建設できる試算であり、市としては適正規模を考えているため、このCパターンが適切ではないかと考えた。</p>
<p>参加者</p>	<p>学級数の人数を40人学級で試算していると伺い、これから35人学級も検討されるということであるが、過去に上尾市は1,2年生が30人学級であったこともあった。これから35人以下学級になると予想される中で、日本にある僻地の学校は25人とか18人等の少人数であり、なにも35人に固執することはないと</p>

	<p>思う。</p> <p>35年先であれば、20人学級なども、これから考えていかないといけないのではないかとということも含め、この適正規模がピンと来ない。40人学級や35人学級が本当に適正なのか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>日本では法律で35人学級という形になっている。</p> <p>上尾市では平成14年ごろまで30人程度学級の実施をしていたこともあったが、それは市の政策として実行してきたところで、国の考え方としては、当時40人学級程度であった。</p> <p>この計画をつくるに当たりましては当然国の基準に基づいて35人学級で考えている。仮に、市で再び30人学級を行うのであれば、見直さなければならない。</p>
<p>参加者</p>	<p>この計画は大規模校を作っていくように思える。</p> <p>この計画が未来に向けた子供の将来の良い教育水準になるのかを人数面を見ても不安である。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>巻末資料の大石地区の大石小学校と大石南小学校が886人と想定されることが大規模校になるのではといったご指摘だと思う。</p> <p>巻末資料の人数は各学校間の児童生徒数を単純に足しあげた数字であるが、この886人の中には学区編成などを踏まえて検討していく予定である。</p> <p>例えば、大石北小学校との学区を調整することも踏まえ、考えていくことを想定している。</p> <p>大石小学校や大石南小学校を統合するにあたっては、保護者や地域の中でのご意見をちゃんとしっかりと聞きながら、どのような形の学校が良いかを検討していきたいと考えている。</p>
<p>参加者</p>	<p>計画の趣旨としては、よくわかるし、検討をされていると思いますが、学校施設の更新計画はある程度やらないといけないと思う。</p> <p>しかし、それと同時に新しい学校ということで、9年制の小中一貫教育を行うなどを、施設面と一緒にやってしまうというのは少し乱暴な気がする。例えば、上尾市として小中一貫教育を進めるなら全校で進める、進めないのであれば、全校で進め</p>

	<p>ないと、施設の問題と分けた方が良く私は考えている。  エリアに関して、小規模校の解消というのはわかるが、大規模化の弊害もある。  エリアで分けてしまうとうまくいく地域とそうでない地域に分かれるのではないか。  東町小学校には原市地区の方も通学している。この件に関しては学区の議論がされてきた。  新しい学校では原市小学校、原市南小学校、原市中学校が統合されるシミュレーションであるが、学校規模が大きくなりすぎる。  適正規模化の考え方はあっているが、実際の学校に当てはめるとうまくいかない現状が見えてきているので、その辺をこれからいろんな形で各地域で検討されると思う。  この辺の資料も出していただいて、計画ありきではなく、十分議論を重ね、結論が出るまでしっかりやっていただきたい。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>1点目の小中一貫教育の関係ですが、再編案については小中一貫一体校の形で記載している。  小中一貫教育のやり方として、新しい形態の義務教育学校ができています。それは併設した学校同士で小中一貫教育を行ったり、別々の離れた学校同士が小中一貫教育することも可能であると考えています。  いろんな形での一貫教育が可能ですが、今回お示しさせていただいたのは、敷地が隣接しており、広いところの学校である平方と原市の2つの学校を一体校として検討したところである。  どのような一貫教育が良いかについて、根本的に一貫教育の議論がまだされていないので、しっかりと令和4年度までの間に先進都市への視察などを行って、一貫教育の形を決定し、仮に一貫教育を行うのであれば、最終的には一貫教育の方針を出さないといけないと考えています。学校のあり方についても、地域の皆さんの意見もあろうかと思うため、どのような形が良いのか意見を聞いたり、自ら勉強したりしながら新しい一貫教育の検討を進めていきたいと考えています。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>これから計画を推進していくに当たり、いろいろなご意見が寄せられると思う。資料を丁寧に提示するとともに、説明をさせ</p>

参加者	<p>ていただきながら、十分議論をさせていただきたいと考えている。</p> <p>先ほどもお伺いしたが、例えば、上尾エリアの小学校に原市エリアの方が通うなどされていると思うのですが、その場合、再編エリアについてどう考えるのか。</p>
教育総務課長	<p>予定をしていた検討エリア中で、入ってなかった学校が入ってきたりするような場合は、関係校にも様々な問題が出てくるため、協議に参加していただくことになる。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>